

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> <p>理念と基本方針を謳っている。</p>	○	利用者の方に笑顔がたくさん出るようにしていきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> <p>毎朝朝礼時、理念・基本方針等の唱和を職員で行っている。又、玄関・事務所内に掲示している。</p>	○	研修や学習の場へのより一層の参加を促し、質を高めていきたい。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> <p>家族の方々とは家族会等でお話を聴いたりしながら取り組んでいる。パンフレットに理念・基本方針を載せている。広報誌に活動を掲載している。</p>	○	地域活動に参加する機会が少ない為、地域とのコミュニケーションは不足している。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> <p>隣近所とは散歩中等に挨拶を交わす程度である。隣接のデイサービスとは交流を行っている。</p>	○	散歩等では近隣の方との交流は難しく、今後は地域の催しへの参加を積極的に行っていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> <p>地域の幼稚園への慰問を行ったり、隣接のデイサービスと共同でふれあい祭りを実施したりしている。又、地域の他事業所とソフトバレーボール大会を開催し交流している。</p>	○	地域の一員として参加をしていけるよう努力を行う。学校の運動会等の行事への参加もしていきたい。

福岡県 グループホーム つくし

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>家族会では、認知症のフローチャートを配布し説明を行っている、さらに知りたいことをお伝えしていく。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>ミニカンファレンスの内容を記録していく。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>利用者の様子の記録の仕方等の再検討。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も参加可能なときは参加していただけるよう促がしていきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>運営推進会議(家族会を含む)で啓蒙活動を行う。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>法人全体での研修及び勉強会を行い職員が学んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に説明し疑問があればいつでも対応できるようにしている。</p>	○	<p>相談・苦情窓口を事業所内に掲示したいと考えている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には2ヶ月に一回の運営推進協議会(家族会)にて苦情等をお聞きしている。又、玄関に意見箱を設置している。</p>	○	<p>利用者から訴えがある時には、納得されるまで話を伺っていく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りや運営推進協議会(家族会)でお知らせしている。又、面会時に詳しく報告している。何らかの異常があるときや緊急時は電話にて報告している。</p>	○	<p>面会に来られた時に健康状態、金銭の出納はお知らせしている。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議(家族会)で出された意見は職員で話し合いを行い、運営に反映するよう努力している。又、地域のグループホーム連絡協議会で他グループホームとの情報交換も行い、運営に生かしている。</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1ヶ月に一度のカンファレンスで話し合いをしている。そこで出た意見を反映させ意欲向上、ホームの質を高める努力をしている。</p>	○	<p>職員間が話し合いながら業務改善を行っていく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要な時間帯に必要な職員を配置する勤務をたてている。</p>	○	<p>今後も努力を行っていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での異動は行っているが、利用者への影響を考慮し、最小限に留めている。</p>	<p>○</p>	<p>優しい心使いのできる人財を配置している。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>認知症介護には介護職員が重要な資源であり、働く人の労働環境の整備に努めている。</p>	<p>○</p>	<p>介護の志しのある人を歓迎している。人柄や思いやりが大切であると考えている。</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>法人研修で取り組んでいる。又、在宅部門での研修会も行っている。</p>	<p>○</p>	<p>理念・基本方針、及び心得を毎朝唱和し、心掛けるようにしている。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人では、外部研修参加規程が設けられ、研修の機会を設けている。在宅部門では、月に1回合同勉強会をしている、又施設内外の研修に積極的に参加を促しスキルアップに努めている。</p>		
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>みやこ町、行橋市、苅田町のグループホーム連絡協議会を2ヶ月に一度行っており、グループホーム同士の交流を深め、サービス向上に努めている。</p>	<p>○</p>	<p>連絡協議会では、離設時のネットワーク作りを検討している。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年数回の親睦会を行っている。(ボーリング大会、ビアパーティ等) 又、リフレッシュ休暇がある。</p>	<p>○</p>	<p>保養所を設ける予定がある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の親睦会を行い、ストレス発散に努めている。業務担当を決め計画、実行できるようサポートしている。</p>	○	育成担当者を配置し、職員の思いを引き出せるよう努力している。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>本人様に合わせた会話を楽しんでいただいている。アセスメントを行い、生活背景等の情報収集を行っている。</p>	○	初回で関わる職員者数は限られるため、全く関わりのない職員もいる。
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>相談から利用まで家族と話しを傾聴することで関係を築いている、又家族会にて信頼関係を築いている。</p>	○	一ヶ月に一回は家族と連絡をとっている。今後も更なる努力をしていきたい。
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>入居時に家族や本人状態を把握し、要望をもとにより良いサービスを提供できるよう介護計画書作成の検討を行っている。他支援が必要な場合は他のサービスと連携を図り支援をしている。</p>	○	利用者が何をしたいのか、何を求めているのか、今後も洞察力を高め、実行していく。
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>体験入居ができるようにしている。帰宅願望等がある時にはお話をゆっくり伺い、徐々に馴染んでいただき安心して生活できるよう努めている。</p>	○	外出・外泊の出来る方は支援していく。馴染みの品物があれば、部屋への設置を促している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>ご利用者が得意なことを見出し職員に教えてもらったりと、共に楽しく過ごせるように努力している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	○	利用者間の会話、表情の変化の様子を見ながら、今後も介入するタイミングを図っていく。
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	○	今後、在宅に戻るケースがあれば、ご本人の了解を得て、訪問や家族と交流が出来るよう努めていきたい。
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	<p>日々の変化によることは、カードックスや連絡ノートに書き、申し送りを行っている。</p>
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		<p>ホーム内での生活にてレクリエーション等を行い、又、行事等で他事業所や同法人との行事にも参加している。</p>

福岡県 グループホーム つくし

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>幼稚園への慰問1回。 消防署職員による火災防止に講演1回。 グループホーム運営推進会議(家族会)に、民生委員、区長の参加の了解を得て現在進行中。</p>	○	<p>今後ホーム独自で地域の方々や警察・消防等との連携を取れるよう地域のグループホーム連絡協議会にて進めている。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>同法人のデイサービスや老人保健施設の行事への参加をしている。以前は囲碁のボランティアの方に来ていただいたが、現在は無し。</p>	○	<p>ボランティア支援の検討。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域のグループホーム連絡協議会にて会議を行い意見等を頂いている。</p>		
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>併設の連携病院のかかりつけ医の場合はホームで受診支援している。遠方のかかりつけ医の場合は家族に受診していただいている。</p>	○	<p>ホームが受診支援している利用者について、家族が医師より直接説明を受ける機会をどうすべきか、運営推進会議で提案している。</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>担当医に相談し診察を行っている。</p>		
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護師と連携している。緊急時にも連絡できる体制である。</p>	○	<p>家族と看護師の連携をどのようにするかということ、運営推進会議で考えて頂く方向で調整している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時にはお見舞いに伺っている。医師、MSW、家族と相談、連絡を行い、退院に備えている。		
49 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、家族、訪問看護師、職員で話し合い、今後の方針を確認し、介護を行っている。	○	ホームでの生活について、終末期のあり方など家族会にて今後も話し合っていきたい。
50 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師、訪問看護ステーションと連携を行い、職員全員で取り組んでいる。夜間も訪問看護ステーションと連携にて協力体制をとっている。	○	終末期を馴染みの場所で生活していただくために、職員一人一人の取り組みなど心掛けたい。
51 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居の際はグループホームで半日過ごして頂くなど、住み替えの準備をしていただいている。又、利用者とは職員の間で関係を築くようにしている。	○	今までに、このケースはないが、今後は家族会・グループホーム連絡協議会にて話し合いを行い、取り組んでいきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報について、家族には承諾書を頂いている。	○	継続して取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	<p>楽しく安心して行事に参加していただけるように努力していきたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>衣服の選択は職員で行っている。利用者の思いの引き出しは少々困難を要している。</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>おやつ等も利用者と一緒に作っているが、今後も色々なものに取り組んでいきたい。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>もっと外食の機会を増やしていきたい。</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>チェックシートを作成し、確実性を高めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴時間は午後に決めており、好きな時間に入浴していただくことは出来ていない。入浴が楽しく安心して出来るためには、声かけや歌を歌うなどを行っている。</p>	<p>○</p> <p>好きな時間に入浴して頂くことができるのかは、検討課題である。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活パターンを尊重し、自室にてテレビを見たり昼寝をされたりしている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>アセスメント及び日々の生活の中から、ご利用者に出来る事を見出し、楽しく生活を送れるよう支援している。</p>	<p>○</p> <p>個別のレクリエーション表を作成し、中身の充実した日々にしていきたい。</p>
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者には事業所がお小遣いを管理していることを説明し理解していただいている。行事時には、お小遣いを渡し買い物等を楽しんで頂いている。</p>	<p>○</p> <p>支払い時には出来るだけご本人に支払っていただくようにしているが、出来ない方にも今後少しずつでもして頂くようにしていきたい。</p>
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物時の声かけを行い希望者に行って頂いている。又、ビデオ等をレンタルする際に一緒に行き選んで頂いている。散歩はほぼ毎日行っている。暑い日や寒い日には車にて外出をしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も利用者の行きたい所の希望を伺い、外へ出て行きたい。</p>
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>年間行事、又は希望がある場合は随時行っている。(初詣、花見、外食等)</p>	<p>○</p> <p>家族に家族会にて事前にお知らせし、参加していただくように努めている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事前に家族に了解を得てご本人が希望すれば電話している。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	随時、歓迎している。又、外出やホーム内でも安心して思い思いに過ごして頂いている。	○	もっと家族と過ごせる様、行事に参加していただけるようホーム便り等でお知らせしていく。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしていないが、車椅子からソファー等へ移動することは不十分である。	○	チェックシートを作成し、確実に行っていきたい。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外への出入り口は鍵をかけている。ご家族には説明しご理解して頂いている。 ウッドデッキへの出入りは自由にできるようにしている。	○	グループホームの前の道路は交通量が多いため、危険回避と離設防止で施錠している。鍵をかけないようにするにはどうすべきか検討課題である。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間の所在の確認を時間ごとに行っていない。	○	1時間毎の所在確認が必要か今後の検討課題である。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物(ハサミ、包丁等)は職員が管理している。使用時は安全に配慮しながら使用してもらっている。		

福岡県 グループホーム つくし

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>勉強会、事例発表等、定期的に行っている。</p>	○	<p>ヒヤリハットを利用している。事故発生時にはシェルモデル分析を行い、今後も事故等の原因追求に努めたい。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>法人、事業所内勉強会を定期的実施し、緊急時対応を実践している。又、消防訓練を定期的に行っている。</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が火災通報訓練、非難訓練を実施している。消防隊が調査に入ったときにも指導を受け、講義もしてもらった。地震に対しては、居室のタンスの位置等に配慮している。</p>	○	<p>トレーニングの継続が必要である。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>職員全員でケアプランの見直しを行い、変更時は家族に説明を行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日、バイタル測定を行っている。体調の悪い様子の時は速やかに協力病院に受診している。日々、訪問看護にとの連絡強化を行っている。</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ファイルに説明書を綴じ、全員が見れるようにしている。状態変化がある場合、看護師・医師へ伝えている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>訪問看護と連携し、便の管理を行っている。又、毎日の体操や飲み物にも気をつけている。</p>	
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケア、夜間入歯の消毒を行っている。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>昼、夜は栄養士の管理された食事であり、朝食を含め、一日を通じた食事全体量は栄養士へ報告している(開設時)。利用者ごとの疾患により食事量、水分をチェックし、習慣に応じた支援をしている。医師、看護師、栄養士には相談できる体制である。</p>	
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染委員会より指示があり、実施している。月1回の感染委員会を行っている。(在宅部門)特段の場合、法人から通達がある。</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>ふきん、まな板、コップ等、次亜塩素酸ナトリウムにて消毒を行っている。手洗いの徹底。手拭はペーパータオルを使用。</p>	<p>○ 食中毒への意識付けを継続する。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>表玄関、裏口共にスロープがある。又、花を植え努力している。</p>	

福岡県 グループホーム つくし

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	居心地の良い室内空間作りを継続する。
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	離れへは段差があるため、現在改修案を出している。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	改造計画案を作成している。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
			②数日に1回程度ある
		○	③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

福岡県 グループホーム つくし

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

【介護的側面】

1. 昨年は通所、入所施設合同での定期的風船バレー大会を行い、交流を深めていたが、本年度よりグループホーム連絡協議会を発足し、情報交換及び交流を深め、年間的合同行事を早急に実施する方向で検討中である。
2. みやこ町の花火大会へ毎年参加し、地域密着を図る。同町の喫茶店やファミリーレストランに出向き近隣住民との交流を図れるよう努めている。
3. 年間を通し季節毎に行事を行い、季節を感じていただいている。花見（梅・桜・菖蒲・菜の花・コスモス・ひまわり等）
4. 週1回は利用者とともに手作り調理を行っている。

【人事的側面】

1. 請求事務は事務職員が行っている。
2. 総務・防火管理者は事務職員が行っている。
3. 昼、夕食は厨房職員が作っている。
4. 以上からホーム内の職員は介護を担当できる環境であると思われる。